

環境学習



多古第一小

4年生全員で 栗山川の浄化活動



多古第一小では、4年生の児童全員で川の浄化に効果があるとされる有用微生物群『EM菌』の土団子を製作。1月28日、あじさい公園から道の駅までの栗山川に約500個を投げ入れました。昨年11月、町生活環境課職員の見守り指導の下、土にEM菌の原料と水を混ぜて団子状に。日陰で保管すること約2カ月、白カビが生えて固まり、手作りの『EM菌団子』が完成しました。栗山川の両岸に分かれ、勢いよく団子を投げ入れた児童たちからは栗山川がきれいになることを願って、遠くまで投げました「自分たちが作った団子で川がきれいになればうれしい」「いつもは川に物を投げ入れることはしないので、とても気持ちが良かった」という声が聞かれ、楽しみながら活動に取り組んだ様子でした。

また移動中は、あじさい遊歩道や河川敷のごみ拾いを行うなど、栗山川の浄化活動のみならず、周辺の環境美化活動にも取り組んだ児童たち。このような活動が町全体に広がり、多古町がより美しい町になればうれいですね。



▲これが川の浄化に効果があるとされる『EM菌団子』

川をきれいに！

地域をきれいに！

久賀小 全校児童で 学校周辺のごみ拾い

久賀小では1月25日、校内初の取り組みとなる『全校美化活動』を実施。全校児童で学校周辺のごみ拾いを行いました。事前に4年生の児童たちが学校周辺のごみを調査。この結果を基に当日の活動

内容が決まりました。

6年生をリーダーに12の班に分かれた児童たちが学校周辺の道路を歩く。予想以上のごみがあり、わすか20分ほどで大きな袋が満杯になってしまいました。

学校に戻った児童たちは、町生活環境課職員の指導の下、拾ってきたごみの分別にも挑戦。捨てられていたごみの種類や場所、ごみ拾いをして気付いたことなどを班ごとに話し合い、調査シートに記録しました。

活動を終えた児童たちからは「ごみ拾いをして学校の周りがきれいになって良かった」「ごみは絶対に捨てないでほしい、自分も絶対に捨てません」といっ



▲活動の成果。わずか20分でこれだけのごみが...



▲拾ってきたごみを丁寧に分別する児童たち▲



▲活動結果をシートに記録

生活環境課では、このような「環境」に関する活動の支援を行っています。ご依頼があれば学校や自治会などにアウトキ、ごみの分別方法やリサイクルなどについて分かりやすく説明しますので、お気軽にご相談ください。

生活環境課環境係 ☎76-5406